

2019年度全日本卓球選手権大会大阪府予選会実施要項

主 催 NPO 法人大阪卓球協会

1. 日 時 2019年10月12日(土) 午前9時30分開始(種目①②⑤)
2019年10月13日(日) 午前9時30分開始(種目③④)
2. 会 場 岸和田市立総合体育館(電話 0724-41-9200)【両日とも】
岸和田市西之内町45-1
南海本線「春木」駅から東へ約1km、徒歩15分。JR 阪和線「久米田」駅から西へ約1.2km
徒歩18分。
3. 種 目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
⑤混合ダブルス
4. 参 加 資 格
 - (1)参加者は、2019年度NPO法人大阪卓球協会加盟登録員であり、(公財)日本卓球協会登録者で日本国籍を有する者であること。
 - (2)但し③～⑤のダブルスは下記各号の一つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
 - (イ)日本国民であった者の子(養子を除く)で引き続き3年以上日本に住所又は居所を有する者。
 - (ロ)日本で生まれた者で引き続き3年以上日本に住所又は居所を有する者。又はその父、母(養父母を除く)が日本で生まれた者。
 - (ハ)引き続き10年以上日本に居所を有する者。
 - (ニ)日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上、日本に住所を有する者。
 - (3)日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択してエントリーすることが出来る。

※ 卒業高等学校所在地(大阪)より出場を希望する者は、所定の申請用紙に記入し登録加盟団体へ提出し、押印を受けた上、NPO法人大阪卓球協会へ持参する。持参できない場合は、返信用封筒(送り先住所、宛名を記入し、82円切手を添付)を添えて郵送すること。

※卒業高等学校所在地が大阪以外の場合、12.その他(6)を参照
 - (4)本年度の全日本選手権大会(カデット以下の部)に出場した者でも、都道府県の予選を通過すれば一般の各種目に参加することができる。
 - (5)同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。

※ 予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。

(6)全国大会無条件参加者は、

	推薦母体	推薦対象大会等	種目及び人数
1	日卓協	平成30年全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各16位まで、混合ダブルス8位まで・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで高校2年以下・・・ジュニアと一般に 高校3年生は・・・一般に
2		2019年度全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各8位、男女ダブルス各4位まで ・・・それぞれの該当種目に
3		平成30年度全日本(カデット)ランキング	14歳(中学2年)以下の部の男女シングルス各8位まで ・・・ジュニアに ※注：13歳(中学1年)以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
4	中体連	2019年度全国中学校	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに
5	日本リーグ	2019年度日本リーグ	男女シングルス各8名、男女ダブルス各4組 ・・・それぞれの該当種目に
6	日学連	2019年度全日本学生選手権	男女シングルスランキング各8位まで、男女ダブルスランキング各4位まで・・・それぞれの該当種目に
7	高体連	2019年度全国高校選手権	①男女シングルスランキング各8位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに(但し、各16名まで) ③男女ダブルスランキング各4位まで・・・男女ダブルスに
<p>1)推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会(連盟)を通じて申し込むこと。</p> <p>2)全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。</p> <p>3)ナショナルチーム及びジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または強化本部の要請などにより(公財)日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知される。</p>			

5. 試合方法 トーナメント戦とする。

6. 使用球 日本卓球協会公認球(株)VICTASのTSPCP40+3スターとする。

7. 競技ルール 現行の日本卓球ルールによる。(但し、タイムアウト制は適用外とする)

ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTTAが公認した接着剤のみを使用すること。

※ラケット検査は審判長の判断により行う。

(別 表)

段位取得について(平成4年3月の日本卓球協会理事会・評議員会で承認された等級制(現段級制)規程改正に基づく)

- ①全日本社会人卓球選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部)
- ③全日本選手権大会(一般・ジュニアの部) ④全日本選手権大会(団体の部)
- ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合があるが、翌年度の同一大会への参加はできない。ただし、全日本選手権(マスターズの部)の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位は問わないものとする。

段位取得規程(平成元年以降)

- (ア) 初出場者・・・・・・・・・・・・・・・・・・初段
- (イ) 同一大会3回目出場者・・・・・・・・・・2段
- (ウ) 同一大会5回目出場者・・・・・・・・・・3段
- (エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者・・4段
- (オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者・・5段
- (カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者・・・・・・・・6段